

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第1期入学試験問題
(選択： 飼料作物学)

【出題の意図】

1. イネ科作物とマメ科作物の形態の違いについて、下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード: 複葉、葉柄、調位運動、分げつ、分枝、穂、子実(莢さや)のつき方、子葉、胚乳

代表的な作物の形態に関する理解度を問う。

2. 北日本におけるダイズの子実収量とその構成要素、およびこれらを左右する栽培条件、品種特性、気象条件について、下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード: 播種適期、有限伸育性、無限伸育性、開花始期、子実肥大期、成熟期、感温性、日長感応性、窒素施肥、根粒菌、生育不良型冷害、障害型冷害、遅延型冷害

マメ科作物の生理生態的特性、栽培特性と収量成立過程に関する理解度、知識を問う。

3. バレイショの生育過程(栄養成長期と生殖成長期の関係に着目)、収穫適期、栽培特性および品種特性(用途別に着目)について、下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード: スترون伸長期、塊茎肥大期、茎葉黄変期、茎葉枯ちよう期、浴光催芽、培土、生食用、加工用、デンプン原料用、リコンディショニング

バレイショの生育過程、基本的な栽培管理、用途別に異なる特性に関する認識および知識を問う。

4. トウモロコシの収穫適期について用途別に下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード: デントコーン、フリントコーン、スイートコーン、ミルクライン、黄熟中期、黄熟後期、完熟期、乳熟後期、糊熟初期、絹糸、サイレージ用トウモロコシ、子実トウモロコシ、ブラックレイヤー

飼料作物の収穫適期とその背景、用途によって収穫適期が異なるという認識および知識を問う。

5. 草地とはどのような土地か? 人為の影響度合いと利用方法に注目して分類し、その概要を説明するとともに、わが国における草地の役割について解説せよ。

キーワード: 自然草地、半自然草地、人工草地、採草地、放牧草地、兼用草地、土地条件、家畜、食料生産、土壌保全

草地の役割や機能に関する理解度を問う。

6. チモシーとオーチャードグラスの分げつ消長の特徴を述べ、分げつ密度を維持するポイントを説明せよ。

キーワード: 持続型、交代型、春化、長日条件、栄養成長、生殖成長、節間伸長、茎頂、既存分げつ、新分げつ

寒地型イネ科牧草の草種特性に関する理解度を問う。

7. 環境保全的草地管理のうち、水質汚濁への配慮について説明せよ。

キーワード: 点源汚染、緩衝帯、河川、直接流入、放牧草地、大腸菌群、面源汚染、汚濁負荷量、表面流去、浅層地下水

畜産における粗飼料生産草地の管理においては、生産性だけでなく、環境保全への配慮も重要であるという認識および知識を問う。